

「さらば、放射能！」 ニュース 《NO. 51》 2013/01/21

発行：安全な生活を願う市民の集い（E-mail：chori_msm@ybb.ne.jp / Tel&Fax：042-725-1898）

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2013/01/16 集計 + オンライン署名増加分 = **8,189,369** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

脱原発の訴え「一層強める」

1月10日、『さようなら原発 1000 万人アクション市民の会』呼びかけ人の中から、大江健三郎さん・澤地久枝さん・鎌田慧さん・落合恵子さんが東京・市ヶ谷で記者会見し、「原発再稼働・新設を目指す安倍政権に対して、脱原発を求める運動を一層強めていく」と表明しました。

3月9日に東京・明治公園で開催予定の市民集会では、《既存原発の速やかな廃炉・新増設は認めない・再生可能エネルギーの最大限の普及促進》などを政府に求める方針です。

先の衆議院選挙で脱原発議席が激減。安倍首相は勢い付き、「福島原発とは全然違う安全な原発」の新設を公言しています。今政権交代直前まで民主党政権が示していた「2030年代の原発稼働ゼロ」計画、その根拠となったパブリックコメントや世論調査に出した民意は完全に削除されてしまいました。今回の《自民党圧勝》は小選挙区制マジックと呼ばれる矛盾の産物です。東京新聞によれば、選挙直前に【原発ゼロ】と答えた世論は60%もありながら、当選議席数は28%に留まったとのこと。「脱原発こそ国民投票が必要だ」との声が上がっています。

東京・町田市に市民放射能測定室『はかる〜む』が誕生しました！

本紙36号〜39号で皆様にカンパをお願いした町田市の放射能測定室が、ついに実現しました。子供達を放射能から守りたい！その願いを持って若い父母世代と祖父母世代とが協力し、約1年半努力を重ねて、ここに市民の市民による市民のための測定室誕生の日を迎えました。

皆様、ご支援ありがとうございました。どうぞ、奮ってご利用下さい。（ご利用の詳細はHPにて）

お問い合わせ：Tel&Fax:042-721-0810 HP：<http://machidasokuteishitsu.blog.fc2.com/>

〒194-0041 東京都町田市玉川学園7-12-28 メゾン28 205号室『はかる〜む』(Tel:042-723-7545)

2月9日(土) 13:30 (開場)

13:45 (開演)

町田市民放射能測定室・はかる〜む

開設記念講演会

山田 真先生・『子どもと放射能』

会場：玉川学園文化センター・ホール
(小田急線玉川学園前駅・北口徒歩3分)

会費：前売り券500円・当日券600円

※保育は定員になりました。ご了承ください。

連絡先：042-723-7545(はかる〜む)

042-721-0810(瀬尾)

Mail: kusukusu-tomomo@willcom.com(八木)

2月23日(土) 9:00~10:30

佐高 信さん(評論家)

「自分を売らない脱原発」

脱原発をあきらめない！ 小出裕章さんとともに新刊『原発と日本人・自分を売らない思想』を著した佐高信さん。舌鋒鋭く語られる問題の真実、原発とは何か、原発のない日本をどう実現したらよいか、一緒に考えましょう。

会場：東京・表参道『クレヨンハウス』
参加費：1,000円 / 申し込み：電話でご予約ください。

【電話：03-3406-6465】

【e-mail：josei@crayonhouse.co.jp】

2月3日(日) 12:30~16:45 (12:00 開場) シンポジウム『放射線影響の真実に迫る』

講演およびパネリスト：ラリーサ S. バーレヴァさん(ロシア小児放射能防護臨床研究センター長)・井上 達さん(前国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター長)・野村 大成さん(大阪大学大学院医学系研究科) / 会場：東京しごとセンター・地下2階講堂(千代田区飯田橋3-10-3) / 資料代：1000円 申し込み：<http://kokucheese.com/event/index/65510/> / 主催：「チェルノブイリ被害調査・救援」女性ネットワーク(fax・03-3312-7791)・NPO法人市民科学研究室「低線量被曝研究会」

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。